

三原市久井歴史民俗資料館 vol.54

モーモー通信



「のぞきからくりのヒミツ」シリーズ③

ナカネタのヒミツ



館長

右の写真は、「ナカネタ」といって、のぞきからくりのストーリーを、箱のレンズから通して見せる絵だモー。押絵と手描きの絵の2種類の絵でできているぞ。

押絵、知ってるモー！綿を布で包んでふくっと膨らませる手芸で、羽子板なんかにも使われているよね。



この押絵は、大正後期につくられたものだよ。当時のぞきからくりの看板絵とナカネタは、国外問わず技術が高く評価されていたんだ。



次に背景の手描きの絵だモー。遠近法による、奥行きが協調された、風景が描かれているよ。



よく見ると、無数の小さな穴があいてるよ！

よく気づいたモー。建物や人物の輪郭にそい、線香の火などで穴をあけているよ。また、欄間や空には薄い紙を貼り、↑後ろから見るとこんな感じだ。これらは、影浮き絵といつて背景光を当てることによって、穴や薄い紙の部分が浮き上がり、臨場感ある絵を楽しむことができたんだ。立体感ある絵と背景光を利用した技法を取り入れ、凸レンズで絵を大きく見せた「のぞきからくり」は、映画やテレビのない時代、大人気となったんだ。



おんないちだいたしなみかがみしゅんとくまる 「女一代嗜鏡俊徳丸」あらすじ

★モーモー劇場★

のぞきからくり実演会②



①大坂のある所に俊徳丸という美しくかしこい青年がいました。俊徳丸は初菊と出会い、結婚の約束をします。

②俊徳丸の実母が亡くなり、父親はおすわという女性と結婚し、おすわは実の子をつれてきました。



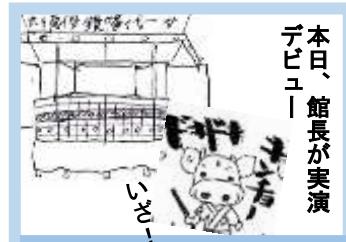
③おすわは実の子に家を継がせるために、俊徳丸が邪魔になり、藁人形で呪います。



④俊徳丸は体調をくずし家から追い出されます。そして、知らずして初菊の家にたどり着きます。



⑤2人は旅に出て、初菊が京都の清水寺の滝に打たれることにより、俊徳丸は全快し結婚します。



俊徳丸物語は、浄瑠璃や歌舞伎でもよく演じられる演目だよ。大阪では室町時代からこの伝説があり、俊徳道という道路もあるそうだ。



つづきは資料館で ...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館), 年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

ごあんない図

